

コンクリートポンプ車  
特定自主検査詳細記録表

3年間保存

証明書 発行日	年月日
証明書 発行No.	標章No.

極東PH65-18,PY60-18

PY75(A)-18 (1/2)C

この記録表は、コンクリートポンプ車特定自主検査記録表様式SR-CP-03&04におけるブーム装置及びアウトリガーに関する検査の機械別詳細を示したものである。

溶接部のき裂・損傷の検査については、目視にて異常のあった場合、探傷器による検査を確実に実施すること。

\*※1 新車登録後、4年以上経過したコンクリートポンプ車は、本記録表内「UT」記号箇所は超音波探傷検査を実施すること。

超音波探傷検査を行った場合、検査実施者氏名、資格番号を本記録表に記載すること。

検査方法の記号は次のとおりである。PT:浸透探傷,UT:超音波探傷

超音波探傷試験実施者

業者名	
報告書番号	
資格者氏名	
資格番号	

区分	NO.	検査箇所	検査内容	符号	検査方法※1		検査結果 良 不良	補修 内容
					新車登録	年 月		
ブーム装置	1	第1ブーム(図示の各部を含む全体)	曲がり、ねじれ、打こん、局部的へこみ、溶接部の亀裂・損傷	1-1-1	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-2	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-3	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-4	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-5	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-6	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-7	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-8	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-9	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-10	目視、PT、UT、スケール			
				1-1-11	目視、PT、UT、スケール			
UT	1	第2ブーム(図示の各部を含む全体)	曲がり、ねじれ、打こん、局部的へこみ、溶接部の亀裂・損傷	1-2-1	目視、PT、UT、スケール			
				1-2-2	目視、PT、UT、スケール			
				1-2-3	目視、PT、UT、スケール			
				1-2-4	目視、PT、UT、スケール			
				1-2-5(CN)	天板(受け材で隠れた部分)	1-2-6	目視、PT、UT、スケール	
				1-2-7	目視、PT、UT、スケール	1-2-8	目視、PT、UT、スケール	
				1-2-9	目視、PT、UT、スケール	1-2-10	目視、PT、UT、スケール	
				1-2-11	目視、PT、UT、スケール	1-2-12	目視、PT、UT、スケール	
				1-2-13	目視、PT、UT、スケール	1-2-14	目視、PT、UT、スケール	
				1-2-15(AN)	補強材溶接端部			
					←補強有りの場合 (図は1992年以前の形。類似形状の場合も同様。)			
UT	1	第3ブーム(図示の各部を含む全体)	曲がり、ねじれ、打こん、局部的へこみ、溶接部の亀裂・損傷	1-3-1	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-2	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-3	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-4	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-5	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-6	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-7	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-8	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-9	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-10	目視、PT、UT、スケール			
				1-3-11	目視、PT、UT、スケール			

3年間保存

**コンクリートポンプ車  
特定自主検査詳細記録表**

証明書 発行日	年月日
証明書 発行No.	標章No.

この記録表は、コンクリートポンプ車特定自主検査記録表様式SR-CP-03&04におけるブーム装置及びアウトリガに関する検査の機械別詳細を示したものである。

区分	NO.	検査箇所	検査内容	符号	検査方法※1		検査結果 良 不良	補修 内容			
					目視、PT、UT、スケール	目視、PT、UT、スケール					
リンク	2	リンク(図示の各部を含む全体)	亀裂、損傷、連結部がた、抜け止めボルト取付(緩み、脱落)	2-1-1 2-1-2 2-2-1 2-2-2 2-3-1 2-3-2 2-3-3 2-4-1 2-4-2	第一届折部 第二届折部	他所同様	2-1-1 2-1-2 2-2-1 2-2-2 2-3-1 2-3-2 2-3-3 2-4-1 2-4-2				
旋回装置	34	ターンテーブル(図示の各部を含む全体)	亀裂、変形	34-1 34-2 34-3 34-4 34-5 34-6	全周 ↑ 1991以前	34-1 34-2 34-3 34-4 34-5 34-6	34-1 34-2 34-3 34-4 34-5 34-6				
架台	38	サブフレーム(図示の各部を含む全体)	亀裂、変形、取付	38-1 38-2 38-3 38-4 38-5 38-6 38-7 38-8	アウトリガボックス (全長・前後左右4本) 補強材端部 (4隅・前後左右4枚) アウトリガ先端補強部 (全長・左右) アウトリガ根元接合部 (全周・前後左右4本) 全リブ端 円筒上下全周 開口窓角部 (四隅・左右) 全周	38-1 38-2 38-3 38-4 38-5 38-6 38-7 38-8	38-1 38-2 38-3 38-4 38-5 38-6 38-7 38-8				
アウトリガ	40	ビーム、ビームボックス、フロート(図示の各部を含む全体)	引っ掛けり、き裂、変形	40-1-1 40-1-2 40-1-3 40-2-1(CN) 40-2-2 40-2-3 40-3-1 40-3-2 40-3-3	アウトリガは一杯伸長して検査 ※ 40-3-1～40-3-3 の左右対称位置 : 40-4-1～40-4-3 左 右 フロントアウトリ リヤアウトリガ	40-1-1 40-1-2 40-1-3 40-2-1(CN) 40-2-2 40-2-3 40-3-1 40-3-2 40-3-3	40-1-1 40-1-2 40-1-3 40-2-1 40-2-2 40-2-3 40-3-1 40-3-2 40-3-3	40-1-1 40-1-2 40-1-3 40-2-1 40-2-2 40-2-3 40-3-1 40-3-2 40-3-3	UT		
備考	1.検査結果が異常なものは図中にその内容を記載する。 2.過去補修箇所、新たな異常箇所のある場合は、図中、表中に追加番号を記入し検査結果を記載する。			記号	交換 X	修理 △	調整 A	締付 T	清掃 C	給油水 L	該当なし -